



ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和2年7月31日発行 文責 校長 副島 和久

通知表の見方について



学校HPもご覧ください

本日(7月31日)、子どもたちには学級担任の先生から通知表が手渡されていることと思います。子どもたちはドキドキしながら、中を見ているのではないかと思います。ご家庭におかれましても、子どもたちの通知表に目を通していただくと思っていますので、**通知表の見方**について、ご説明いたします。

通知表は、学校(主に、学級担任の先生や授業に携わっている先生)から、子どもたちやお家の方へ学校での学習や生活の様子をお伝えするものです。今回は、個人面談で直接、学級担任とお話しさせていただく機会もありましたので、所見欄は設けておりませんが、1学期の各教科の学習状況、生活状況、身体の記録、特別活動の記録、出席の記録についてお知らせしています。

この通知表を、子どもさんと保護者の方とのコミュニケーションのツールとして使っていただくことで、子どもさんが1学期の自分を振り返ることができ、夏休みや2学期に向けて、「さらにがんばりたい!」という気持ちが生まれるようにしていただきたいと思います。

「学習のめあて」は、子どもたちに身に付けてほしいことやできるようになってほしいことなどを示しています。どの教科においても、1は「知識や技能に関すること」、2は「思考力・判断力・表現力に関すること」、3は「主体的に学習に取り組む態度に関すること」を示しています。

「学習のめあて」の言葉が低学年、中学年、高学年で同じものもありますが、学習している内容は異なりますし、学年が上がるほど、学習の質も高まりますので、評価する内容も当然、高くなります。

それぞれの観点の具体例を示します。但し、学年や教科は様々です。

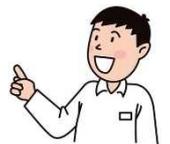
1 「知識や技能に関すること」の具体例

学習した漢字を正しく書ける・読める・意味が分かる、指示語(これ、あれ、それなど)を正しく使える、小数のかけ算・わり算、分数のかけ算・わり算が正確にできる、グラフを読み取ることができる など



2 「思考力・判断力・表現力に関すること」の具体例

詩に書かれている様子を豊かに想像する、実験した結果からいえることを考える、自分の解き方を順序だてて説明する、自分の考えにそのように考えた理由を添えて発表する、演奏の仕方を工夫する など



3 「主体的に学習に取り組む態度に関すること」の具体例

あきらめないうで粘り強く取り組む、分からなかったら友達に聞いたり先生に尋ねたりして解決しようとする、学習したことを他の学習場面や生活場面でも生かそうとする、楽しんで取り組む、自分から進んで取り組む など



これらを◎、○、△で評価をしています。それぞれの記号については、以下のようにお考えいただくとよいと思います。

◎よくできる

満足できる学習状況です。この調子で夏休みや2学期も頑張るとよいと思います。より詳しいことを調べたり、難しいことにチャレンジしたりしてみるのもよいと思います。夏休みの自由研究や図画工作、感想文（作文）など自分が得意なことを極めてみるなど、学習したことや身に付けたことを発揮できる場を勧めてあげるとよいと思います。



○できる

おおむね満足できる学習状況です。おおよそうまくいっていると思いますが、部分的には苦手なことがある人がいるかもしれません。また、がんばるともっとできるようになる人もたくさんいます。夏休みの宿題などに取り組む中で、苦手なことやよく分からないことはそのままにしないようにアドバイスしてください。1学期の復習をやってみるのもよいと思います。心配なところやもっとがんばりたいところがあるときは、担任の先生やその教科を教えている先生に相談するのもよいと思います。



△もう少しがんばろう

まだまだ十分に伸びる可能性がある学習状況です。あきらめずに粘り強く取り組んだり、自分ができるところからこつこつとていねいに取り組んだりすることでこれからの大きな伸びが期待できると思います。ただ、がむしゃらに勉強するだけでなく、勉強の仕方なども自分に合った方法などを工夫するとよいと思います。保護者の方のプラス思考の言葉かけが子どもの励みになると思います。また、中学年、低学年では、家庭での具体的なアドバイスや働きかけも大切であると思います。学習内容や方法で分からないことがあったら、担任の先生やその教科を教えている先生に相談してほしいと思います。



◎、○、△の数の多い少ないだけでなく、それぞれの教科について、上の考え方に沿って、1学期の授業への取り組み方はどうだったかな？ このあと、どのようにがんばるといいかな？といったようなことを子どもさんといっしょにお考えいただくと嬉しいです。

「生活のめあて」についても、◎、○、△についての考え方は同様です。特に、△は「これからできるようになることが大いに期待できる」というメッセージですので、できていないことを指摘するだけではなく、① どのようにできていないのか、② どのようにすれば、できるようになるか ということ子どもさんと一緒にお考えいただければと思います。そして、夏休みから少しずつ実行に移していけるとよいです。

△について、子どもの具体的な様子が気になる、詳しく知りたい、といった場合は、学級担任にお問い合わせいただければ対応したいと思いますので、お気軽にどうぞ。



長い1学期でした。1学期は、225名中168名の児童が皆勤賞でした。まずは、この1学期をしっかりと頑張ることができた子どもたちをしっかりとほめてあげてください。夏休みと2学期が子どもたちにとって、充実した時間となりますように…